

はらんべえ・れお 26号

新規奨学生 ケジアちゃん紹介！

ケジアちゃんはナイロビから北西にバスで1時間くらいのところにあるナイバシャの、家と畑が広がるマカラというところで、農作業の日雇い労働をしている祖父母と暮らしています。今年1月から、ナイバシャ・ガールズ・セカンダリー・スクールに入学し寮に入り、最初の学期が終わったところです。

彼女の父親は不明、母親は彼女が5歳の時に、彼女を残して蒸発してしまったそうです。以前KESTESの奨学生であった、現在ニヤフルル大学に通っているデニス君の親戚で、デニス君も近所に住んでいます。

自宅を訪問すると、彼女がいつもお茶などの準備をしてくれ、積極的に家事をやり家族を支えている様子が伝わってきます。明るく朗らかな祖父に比べ、シャイでおとなしい印象のケジアちゃんですが、真面目で努力家な性格です。また、セカンダリーではガールスカウトに入り、バレーボールなどの活動もしているそうです。「まだ親友と呼べる友達はいないが、これからじっくり話して探していきたい」と述べていました。

プライマリーの時に、石油ランプのあかりで勉強していたため、煙で目を痛めてしまった自分の経験から、将来は眼科医になることを考えています。しかし、まだセカンダリー1年目のため、進路については迷っているとのことでした。ただ、将来は奨学金を受けたお礼に、少なくとも1人は困っている子供の援助がしたいと言っていました。

昨年のKCPEでは、すべての科目でB-以上を取り356点、クラスでは51人中2位と優秀な成績を収めました。セカンダリーでは、KCPE350点以上が入学の条件となるレベルの高い学校に入学し、初めての寮生活、新しい科目と戸惑いも多かった様子ですが、少しずつ慣れてきたようです。また、祖父も保護者会など学校関連行事には積極的に参加すると述べており、彼女のサポートに全力を尽くすと言ってくれました。

担当者としても暖かく見守り、応援していきたいと思います。

(2017年度2次隊 総務班 鈴木まほろ)



【担当者(左)とケジアちゃん(右)】



【おじいちゃん(左)とケジアちゃん(中央)食用うさぎをみせてくれました】

☆奨学生なう☆

一つ上の学年へと進級した奨学生たち。それぞれの奨学生の成績と担当者からのコメントを発表します！

奨学生名	学年	成績 (前回⇒今回)	校内順位 (前回⇒今回) クラス順位 (前回⇒今回)
オニャンゴ・ジェミマ	3	B⇒C+	113位/418人中⇒ 210位/419人中 20位/70人中⇒ 38位/70人中
ケビン・マイナ	4	C+⇒C	169位/290人中⇒ 136位/278人中 30位/59人中⇒ 20位/59人中
サイラス・ムワニア	4	B⇒C+	3位/71人中⇒ 3位/66人中 3位/71人中⇒ 3位/66人中
ケジア・ルグ	2	C	229位/284人中 42位/56人中

※ケジアちゃんは新規奨学生のため、Term1の成績のみを掲載しています。

オニャンゴ・ジェミマ



成績が下がってしまっただけでなく、楽しみにしていた遠足が延期になったり、家族が病気になったりと、悲しいことが多かった1学期だったそう。次の学期は楽しく、勉強にも力を入れてほしいです！

ケビン・マイナ



今回はテスト内容が難しく、成績は下がってしまいましたが学校内での順位は上げることができました。Term2では苦手な数学、物理に今まで以上に時間を費やしKCSEに備える、と気合を入れています。

サイラス・ムワニア



成績は下がってしまいましたが、クラス順位は無事にキープ。成績に関しても一切言い訳をせず、素直に反省していました。次回は苦手な科学と歴史を集中的に勉強し、高得点をめざします。

ケジア・ルグ



地域のトップ校に入学し、生活も寮が変わり、伸び悩んでしまったようです。さすが農家なだけあって農学の順位は良かったです。シャイなので、恥ずかしがらずに質問するように応援してきました。今後も適切に励ましていきたいです。

2018年度第1回総会が実施されました！

2018年最初の総会が、4月28日、新規加入の隊員4名を含めた22名が出席し開催されました。議題は、会計報告（1～4月）、奨学生の近況報告、奨学生の新規採用審査、奨学生の募集要項の改正、団体の運営、団体ホームページのレイアウト改修検討、などでした。

奨学生4名の近況報告では、小学校から中学校に進学して苦労している子や苦手科目の成績を上げた子などの状況だけでなく、奨学生を家庭訪問している担当者からの勉強方法の助言、進路やプライベートの相談といった支援の様子も報告がありました。

新規奨学生の採用審査では、学力、学習姿勢、家庭環境等を考慮した上で、2名採用1名取り消しとなりました。子どもには無限の可能性が 있습니다。今回の候補生と同様の状況に置かれている子ども達はケニア全土にたくさんいると思われませんが、今回、2人の可能性を未来につなげることができたことを嬉しく思います。

（2017年度3次隊 総務班 石黒雄資）



チャリティーオークションも開催！

総会のお楽しみ！チャリティーランチ

総会恒例の一大イベントとなっているチャリティーランチ。午後からの長い議論のエネルギー源となる今回のメニューは牛丼と豚汁でした。

準備はイベント班が担当し、前日に仕込みをするのですが、今回特に大変だったのは牛丼に使う薄切り肉の確保。アジア以外では薄切り肉はそれほどメジャーでは無いようで、私たちがナイロビで薄切り肉を買える場所を知らなかったの（どなたかご存知でしたら個人的に教えてください）半解凍した肉の塊を削ぎ切りにするという古典的なやり方でひたすら薄切り肉の山を作っていました。

イベント班のルーキーでありエースでもある前田隊員が、牛丼には欠かせない紅ショウガを任地で作ってくれるというナイアシストもあり、牛丼は大好評でした。豚汁の方は…私の独断と偏見による個人プレーによりじゃがいもではなくサツマイモを採用。これが意外と好評価！（だと思いたいです）

今回のチャリティーランチは23名の方が参加され、収益は4,677Kshとなりました。

次回の開催でも皆が満足いくメニューをイベント班一同で作っていきたく思います。皆さんも豚汁を作るときはぜひサツマイモを使ってみてください！ほんのり甘いホックホクのサツマイモ入り豚汁もなかなかイケるものですよ！

（2017年度2次隊 イベント班 真利一馬）



KEEFのイベントに参加しました！

今回はKEEF(カナダ人設立のセカンダリー生徒対象の奨学生支援団体)のイベントにて行った販売についてご紹介させていただきたいと思います。彼らとはカカメガという町のスーパーで偶然出会ったのをきっかけに、「お互いに役に立つ情報交換ができれば」ということでやりとりを行うようになりました。

イベントでは、彼らは抽選会(チケットを事前に購入してもらい、半券を抽選券として使い、メンバーからの持ち寄りの景品を配布するというファンディング手法)を行い、資金集めを行っていました。その場をお借りして、KESTESの資金集めについて紹介し、3,900kshの寄付をいただくことができました。「Tシャツをぜひ孫に着せたい!」「親戚に一枚もらって行く!」そのような声が聞けたのも嬉しかったです。

「ケニアの教育の一端を担いたい」という志を同じにする者同士、今後も末永く交流していきたいと思えます。

(2016年度2次隊 会計班 古藤誠一郎)



守童バザーに参加しました！

1月27日に開催された守童バザーに参加させていただきました。KESTESとしても久しぶりに守童バザーに参加したので、どんな雰囲気なのかかわからず緊張していましたが、アットホームな雰囲気にすぐに慣れ、いつの間にかバザーを楽しんでいました。ケニアの田舎町ではなかなか食べられない日本食もたくさんあったため、KESTESのブースそっちのけでお店を回ってしまいました。

今回はバザーということで、グッズではなく、少し古くなったI LOVE KENYA Tシャツやポロシャツ

などを提供させていただきました。お客様の中には、奨学生のためにたくさん寄付をしてくださった方もいらっしゃり、大変感謝しています。おかげさまで、今回のバザーでは19,700円の寄付をいただきました。これらは全て奨学生への奨学金として大事に活用させていただきます。立ち寄ってくださったみなさま、本当にありがとうございました。そして、日本人会のみなさまも、このような機会を与えていただき誠にありがとうございました。

(2016年度3次隊 イベント班 高橋真大)



特集☆卒業生インタビュー！

今回、KESTESが支援しているネーマちゃんとラウィ君の2名が、無事に学校を卒業しました。そこで今回は、卒業した2人に、担当者がインタビューをしてきました！

①Neemaちゃん

【奨学生紹介】

名前はNeema Margaret Keruboさんといい、Asumbi Girls High Schoolを昨年の12月末に卒業しました。KESTESでの支援は2015年9月から始まり、当時彼女はForm2でした。KESTESへの応募のきっかけは、ネーマの父親の死でした。母親は市場で小売をしていましたが、母親の収入だけでは7人の兄弟を学校に通わせることが難しくなっていました。父母は教育の大切さを子どもたちに教え、また子どもたちもそれを信じていました。ネーマには上に4人の兄と姉がいますが、それぞれが自身のスポンサーになってくれる団体を探し、支援を受けながら優秀な成績を修めていました。KESTESには大学に通う長女から、妹をなんとかサポートして欲しいとメールがあり、自宅を訪問した際、素晴らしい人間性の母子達と、何よりネーマ本人の学ぶことへの熱意が伝わり、推薦・奨学生採用に至りました。KCSEではメイングレード「A-」という高得点を取得し、昨年無事に高校を卒業することができました。

【学校生活での思い出は？】

学校生活の中で、何よりも頑張ったことは勉強です。学校では様々な新しいことを学ぶことが出来ました。新しいことを学ぶということが、何よりも楽しかったです。また、学校ではいくつかのクラブに所属しましたが、そのクラブでも沢山のことを学びました。私は、演劇クラブ、音楽クラブ、科学クラブ、Junior Achievers Clubに所属していました。

【卒業後の進路】

将来の夢はエンジニアになることです。そのために、ジョモ・ケニヤッタ農工大学（JKUAT）に進学したいと考えています。好きな科目が物理だということと、コンピューターを扱う仕事に就きたいと思ったからです。第一志望の大学はJKUATですが、その進学が叶いそうになかったら、ナイロビ大学に進学したいと考えています。ナイロビ大学に進学が決まったら、薬学部所属し薬剤師を目指したいと考えています。

【家族から奨学生へ】

ネーマは、学校にいる時も家にいる時も、とても勉強を頑張っていました。学校にいる時は勉強に励み、家にいる時は勉強をしたり、読書をしたり、家の手伝いをしてくれたりしていました。今回のKCSEの結果は、日頃のネーマ自身の頑張りによるものだと思います。



【家族からKESTESへ】

KESTESのメンバーの皆さん、本当にありがとうございました。KESTESのサポートがなかったら、ネーマを学校に通わせることが出来ませんでした。今後もケニアの高校生に対してサポートを続けて欲しいと思います。将来の夢を持っていても学校に通えない子も沢山います。その子たちのためにサポートを続けて欲しいです。今までネーマをサポートしてくださったサポーターのみなさん、担当者みなさん、本当にありがとうございました。

【本人からサポーター各位に一言】

サポーターの皆さん、今まで本当に本当にありがとうございました。皆さんのおかげで高校を無事に卒業することが出来ました。私が良い成績で卒業できたことも、みなさんのおかげです。みなさんのサポートがなかったら、私は高校に通うことが出来ませんでした。いつかみなさんにお会いして、一人一人にお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

【隊員から奨学生へのコメント】

高校卒業、おめでとうございます。また、KCSEも好成績を修めて本当にすごい！おめでとう！初めて会った時から、礼儀正しくて気が利いて良い子だな～とと思っていましたが、ネーマを担当して1年強、その印象は変わることがありませんでした。また、同じ学校に通う子からも尊敬されていて、ネーマは本当にすごいな～と感心しています。これも、日頃の学校生活での立ち居振る舞いのおかげでしょう。尊敬します。まずは、大学進学に向けて新たな奨学金制度を探したり、仕事を探したりと忙しいかもしれませんが、無理をせず頑張ってくださいと思います。ネーマを担当することが出来て、本当に良かったです。これからの成功を祈っています。また、日本かケニアで会いましょう！



②Lawi君

【奨学生紹介】

Lawi君のサポートは、2014年、セカンダリー入学と同時に始まりました。

早くに父親を病気で亡くし、女手一つの厳しい家庭環境で育ちました。KESTESとの出会いは、当時の担当隊員にプライマリーの担当教員が、「片親孤児ながら非常に優秀な生徒がいる」と紹介をしたことに始まります。その頃から成績は常に上位。エッセイコンテストでも優勝したことがある優秀な生徒だった、と聞いています。



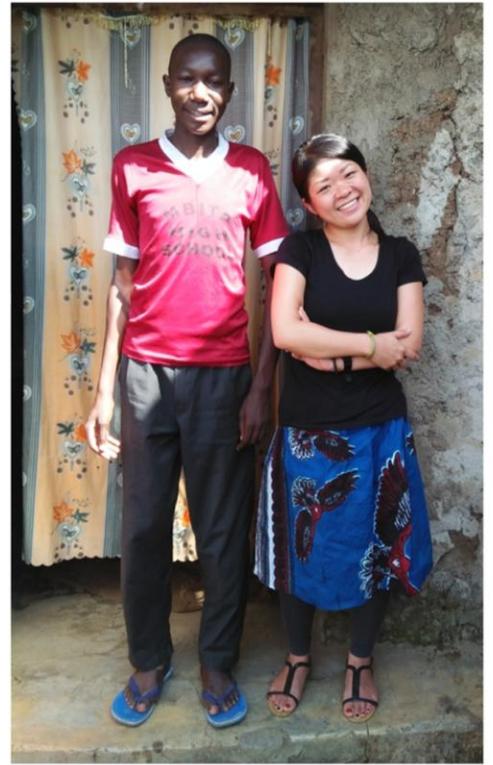
【学校生活での思い出は？】

得意科目は歴史と英語でした。在学中に応募したエッセイコンテストでは、東アフリカコミュニティで入賞しました。全寮制の学校だったので、自由時間のほとんどを自習時間にあてていました。特に、好きだけど苦手な数学の自習に力を入れ、教科書や参考書がボロボロになるまで勉強をしました。そして、勉強をしているときもほかの時間も、学校ではいつも友人と一緒にいた思い出があります。

【卒業後の進路】

この8月にケニアの国立大学に進学することが決まっています。高校在学中から、医師になることが夢で、大学進学はもちろん、海外留学も視野に入れて勉強に励んでいました。しかし、理数科が苦手だったので、第二希望としてエンジニアなど「ケニアの役に立てる仕事につきたい」とも考えていました。KCSEでは「B+」という良い結果を残すことができたものの、経済的な理由から、今年の進学は見送ろうと思っていましたが、学校側から奨学金を得ることができ、進学決定に至りました。

現在は日本に留学し、学んだ知識をケニアに還元することを目標にしています。



【本人からサポーター各位に一言】

サポーターのみなさんの多大なるご支援に、非常に感謝しています。また、今回のKCSEの結果についても、きっと喜んでいただけたと思います。今後も、厳しい環境の中で学ぶケニアの生徒に対する深い理解と、継続した支援をお願いします。

【隊員から奨学生へのコメント】

2017年4月、セカンダリーの最終学年1学期の終了後、私は前任者から彼の担当を引き継ぎました。初めて会った彼の印象は「とてもシャイな男の子」。

決して言葉数が多いわけではありませんが、言葉の一言ひとことに重みがあり、また、苦手なことにも地道に前向きに取り組む姿にはいつも感銘を受けていました。毎回会うたびにこちらが元気をもらい、担当者として彼に出会えたことに感謝しています。

彼のような闘志を持った若い青年がいることは、この国にとっても大きな希望だと思います。彼の行く手にはいつも大きな壁が立ちはだかっていますが、理解のある家族とともに、希望をもって一歩ずつ進んでほしいと思います。



KESTESは以下の企業様のサポートを受けています。 いつもご支援ありがとうございます。



CONSULT, INNOVATE, IMPLEMENT

www.eta.co.ke

**EXCIA East
Africa, Ltd.**
<http://exciacarhires.com/>

「はらんベえ・れお掲示板」をご活用下さい！

サポーター様の間で共有したい情報、お知らせ、募集等がありましたら、KESTESまでご連絡下さい。はらんベえ・れおにて掲示板を掲載いたします。是非ご活用下さい！はらんベえ・れおは年3回の発行ですので急案件の告知には向きませんが・・・サポーター様各位とケニア中に散らばるKESTES委員による、強力な情報ネットワークの架け橋となりますよ！「ケニアに旅行に行きたいけど、現地に住む人たちの生のおススメ情報が聞きたいなあ。」「スワヒリ語に興味があるんだけど、誰か教えてくれそうな人はいないかなあ。」などなど！お問い合わせは下記右下にある代表アドレス、またはKESTES広報班アドレス (kestes.kouhou@gmail.com) までお願い致します。

編集後記

総会終了後には、帰国隊員の寄付してくれた品による、チャリティーオークションが開催されました。家電や娯楽品など約50品が出そろい、イベント班の売り子による軽快なトークで、大盛り上がりでのオークションでした。

なんとと言っても一番の目玉は、なつかしの味の日本食材！どんどん上がる値段に「もう一声！」の声援(?)も飛び交い、場は白熱しました。

最終的に寄付総額は10,445kshとなりました。ほしいものが手に入って、子どもたちの奨学金にもなる、ほくほく感2倍のオークションでした。

KESTES新メンバーのご紹介

総務班

石黒 雄資(2017年度3次隊)
新井 光 (2017年度4次隊)

会計班

黒田 篤槻(2017年度3次隊)
塩田 真也(2017年度3次隊)
鈴木 孝枝(2017年度4次隊)

イベント班

前田 有貴子(2017年度3次隊)

広報班

平岡 咲幸希(2017年度4次隊)
小川 真奈(2017年度4次隊)

KESTES 委員29名奨学生
6名(2018年5月末現在)
Kenya Students' Educational
Scholarship
Website
<https://iocvkestestop.wordpress.com/>
問合せ先:
kesteskenya@gmail.com



文責

2016年度3次隊 伏見 秀明
2017年度2次隊 奥山 美桜